

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立伝法小	学校	児童数	38
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.12	16.72	34.22	36.82	36.83	9.45	134.72	25.00	51.33
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	18.75	17.10	39.75	36.80	35.50	9.70	133.50	12.92	52.11
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

握力では、男女ともに前年度同様に2ポイント以上、全国平均値を上回った。また、50m走で男女とも平均して0.1秒ほど速く、男子のソフトボール投げ、男女の長座体前屈全国平均値よりも上回った。しかし、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅とびで全国平均値を下回った。

アンケートから「運動をすることが好きですか」の質問に対して、男子は83%、女子は40%(全国平均値 男子は73%、女子は54.8%)が肯定的な回答をした。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が16.7%、女子が20%(全国平均値 男子は11%、女子は9.2%)だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

握力やソフトボール投げ、50m走、長座体前屈の結果からは、巧緻性、瞬発力、柔軟性において一定の成果が見られた。本校の取組としては、体づくりを軸にした活動であるチャレンジタイムを年1回、デンリンピックを年2回ずつ実施し、足腰の強化に重点を置いた運動を取り入れた「かけあし運動週間」や「長縄とび週間」にも取り組んだ。また、5校時前には、体幹の安定性を高めるための「伝法体操」を習慣的に行った。

しかしながら、上体起こしや20mシャトルラン、反復横跳びなどは、全国平均値を大きく下回っており、俊敏性や持久力に課題があることがわかった。今年度の取組を継続していくとともに、さらに課題解決に向けたものとなるよう改善を図っていく。さらに1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が全国平均よりも男女ともに高い割合だった。今後は、運動量の確保が重要であり、みんな遊びや運動が好きになる取り組みを行っていく必要もあると考えられる。